

2024年1月31日

関係各位

野村ホールディングス株式会社

コード番号8604

東証プライム市場・名証プレミア市場

2024年3月期第3四半期の連結決算について

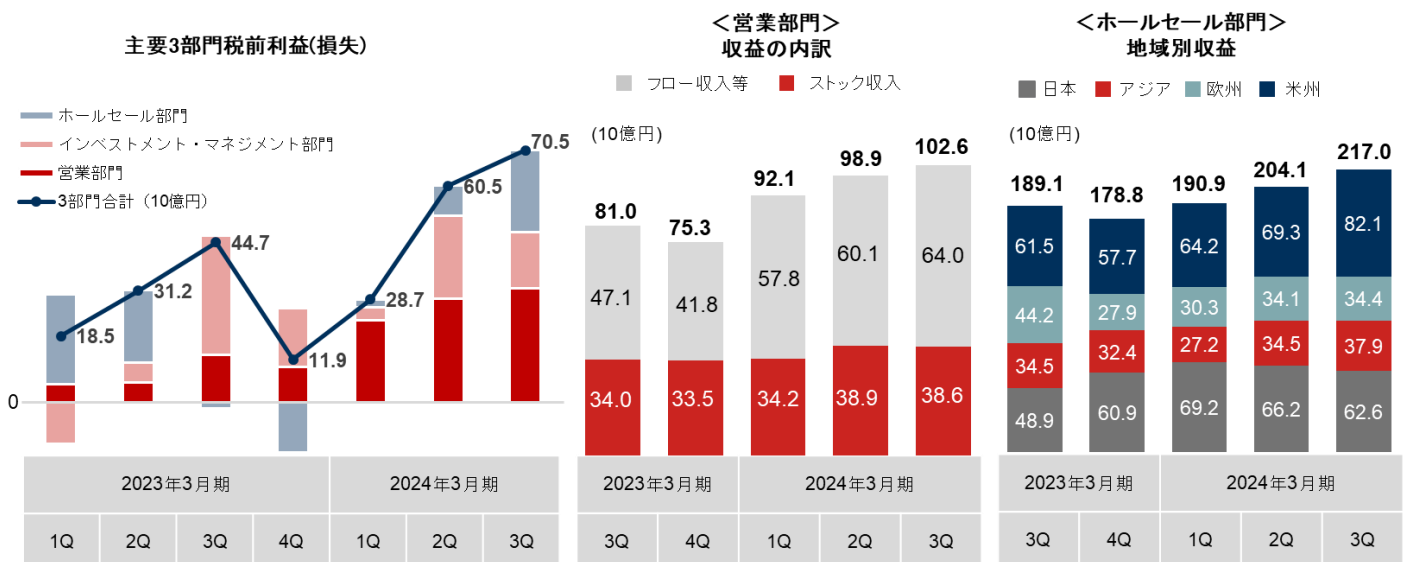
野村ホールディングス株式会社(代表執行役社長 グループCEO:奥田健太郎、以下「当社」)は2024年3月期第3四半期(2023年10-12月、以下「当四半期」)の連結決算を発表しました。

グループCEOの奥田健太郎は以下のように述べています。

「当四半期の主要3部門の税前利益は705億円(前四半期比16%増)となり、これまでの取組みや戦略が実績として表れ、好調なモメンタムが確認されました。日本市場への関心がグローバルに高まるなか、営業部門およびインベストメント・マネジメント部門では、投資家からの多様なニーズに適したサービスやプロダクトを提供し、その手応えを感じる四半期となりました。ホールセール部門においても、インベストメント・バンキングでは、国内外でのM&Aアドバイザーやエクイティ・ファイナンスの引受が堅調に拡大しました。グローバル・マーケットでもフィクスト・インカム为主要プロダクトすべてで収益が伸長しています。結果として、当四半期はすべての海外地域で税前黒字を達成しました。

企業や投資家のアクティビティは引き続き高い水準にあり、当社の強みである日本における強固な顧客フランチャイズとグローバルなネットワークを最大限発揮できる好機と捉えています。なお、上限1,000億円の自己株式取得を決議しました。

引き続き、コスト・コントロールを徹底することで経費率改善を図ることはもちろん、加えて成長が見込める分野への積極的な投資も行っていきます。グローバルに各地域で競争力のある事業に注力し、収益の拡大に取り組んでまいります」



決算ハイライト

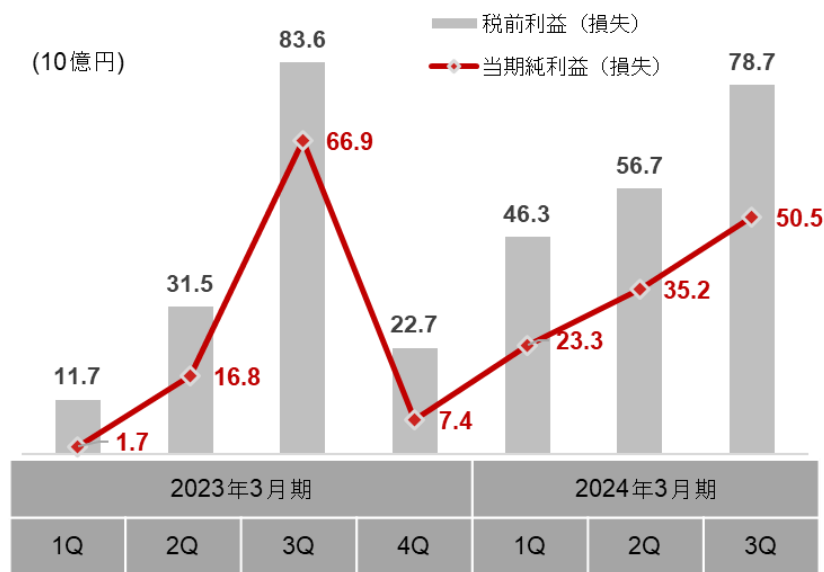
<当四半期>

全社

- 全社の税前利益は787億円(前四半期比39%増)、当期純利益は505億円(同43%増)でした。
- 当四半期のROEは6.2%でした。
- 営業部門の好調とホールセール部門の回復をうけて、主要3部門の税前利益は705億円(同16%増)となりました。また、すべての海外地域が税前黒字を達成しました。
- 普通株式1億2,500万株または総額1,000億円を上限とする自己株式の取得について決議しました。

	当四半期	前四半期比	前年同期比
収益合計 (金融費用控除後)	4,002億円	+9%	+2%
税前利益(損失)	787億円	+39%	△6%
当期純利益(損失)	505億円	+43%	△24%

全社の税前利益(損失)、当期純利益(損失)

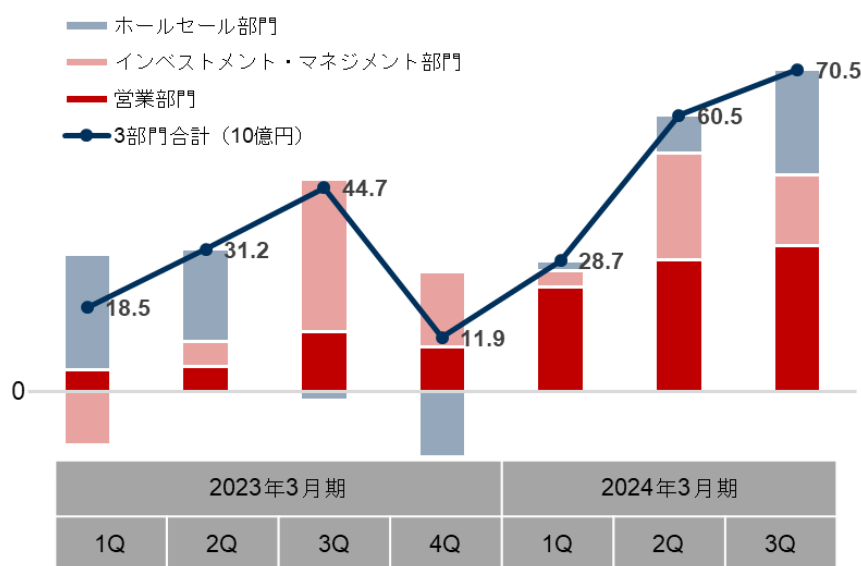


主要3部門

- 営業部門は、お客様のニーズにより的確に対応するための人員再配置が奏功し、良好な相場環境やプライマリー案件の貢献もあり、株式に係るフロー収入が伸長しました。ストック資産(21兆円)は過去最高を更新、部門収益が拡大するなかでコスト・コントロールを継続し、ストック収入費用カバー率は55%と高水準を維持しました。
- インベストメント・マネジメント部門は、資金純流入に市況要因が加わり、運用資産残高(78.5兆円)は過去最高を更新しました。投資損益も部門業績に貢献するものの、前四半期比では減少しました。
- ホールセール部門は、グローバル・マーケットで、エクイティが前四半期比で減収、フィクスト・インカムはすべての主要プロダクトで収益が伸長しました。インベストメント・バンキングは比較可能な2017年3月期以降で最高の四半期収益となりました。

	収益合計(金融費用控除後)			税前利益(損失)		
	当四半期	前四半期比	前年同期比	当四半期	前四半期比	前年同期比
営業部門	1,026億円	+4%	+27%	319億円	+10%	+141%
インベストメント・マネジメント部門	389億円	△14%	△32%	156億円	△33%	△53%
ホールセール部門	2,170億円	+6%	+15%	230億円	+178%	-
合計	3,586億円	+3%	+10%	705億円	+16%	+58%

主要3部門税前利益(損失)



<2024年3月期(以下「当期」)第1-第3四半期累計>

全社

- 当期第1-第3四半期累計の全社税前利益は1,818億円(前年同期比43%増)となりました。
 - 主要3部門の税前利益は1,597億円(同69%増)となりました。
 - 主要3部門以外の税前利益は、関連会社株式の一部売却益[※]を計上した前年同期比で37%減となりました。

	2024年3月期第1-第3四半期累計	前年同期比
収益合計 (金融費用控除後)	1兆1,169億円	+11%
税前利益(損失)	1,818億円	+43%
当期純利益(損失)	1,091億円	+28%

※ 関連会社である野村総合研究所株式の売却関連利益(280億円)

主要3部門

- 営業部門は、今春行ったお客様のニーズによりの確に対応するための人員再配置が奏功、良好な相場環境も追い風となり、フロー収入、ストック収入ともに大きく伸長しました。
- インベストメント・マネジメント部門は、資金純流入を伴って運用資産残高は過去最高を更新するなど、運用ビジネスが好調、投資損益も改善しました。
- ホールセール部門は、不透明な市場環境もあり、海外におけるフィクスト・インカム(特に金利、為替/エマージング)が上半期に苦戦しましたが、日本でのエクイティや日本・海外でのインベストメント・バンキングは増収となりました。

	収益合計(金融費用控除後)		税前利益(損失)	
	第1-第3四半期累計	前年同期比	第1-第3四半期累計	前年同期比
営業部門	2,936億円	+31%	839億円	3.5倍
インベストメント・ マネジメント部門	1,106億円	+22%	424億円	+56%
ホールセール部門	6,119億円	+3%	333億円	△24%
合計	1兆161億円	+12%	1,597億円	+69%

【ご参考】

[野村ホールディングス株式会社 2024年3月期第3四半期決算短信](#)

[2024年3月期第3四半期決算説明資料 米国会計基準\(US GAAP\)](#)

[2024年1月31日付ニュースリリース「自己株式の取得に係る事項の決定に関するお知らせ」](#)

以上

詳細につきましては、当社ホームページ(<https://www.nomuraholdings.com/jp/investor/>)にて掲載の決算短信および決算説明資料をご覧ください。また、本日(2024年1月31日)午後6時30分より、決算説明会(テレフォン・カンファレンス)を開催する予定です。この模様は、当社ホームページ(<https://www.nomura.com/jp/>)を通じてライブ配信します。

本資料は、米国会計基準による2024年3月期第3四半期決算の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。本資料に含まれる連結財務情報は、監査対象外とされています。

本資料に掲載されている事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではなく、今後、予告なしに変更されることがあります。なお、本資料で使用するデータおよび表現等の欠落・誤謬等につきましてはその責を負いかねますのでご了承ください。

本資料は将来の予測等に関する情報を含む場合がありますが、これらの情報はあくまで当社の予測であり、その時々状況により変更を余儀なくされることがあります。なお、変更があった場合でも当社は本資料を改訂する義務を負いかねますのでご了承ください。

本資料のいかなる部分も一切の権利は野村ホールディングス株式会社に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。